

＜ 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 ＞  
骨子(案)

令和元年12月

あま市

# 1 基本的な考え方

## (1) はじめに

平成 22 年 3 月に七宝町、美和町、甚目寺町が合併して誕生した本市は、様々な歴史的・文化的資源を有しています。これらの地域資源を活用し、市民との協働により個性的で夢のあるまちづくりを進めるため、平成 24 年 3 月に「第 1 次あま市総合計画」を策定し、「人・歴史・自然が綾なすセーフティー共創都市“あま”」を市の将来像に掲げ、その実現に向けた施策の推進に取り組んでいます。

また、平成 28 年 2 月に「あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成 27 年度～令和元年度)」を策定し、人口減少を抑える施策を推進しています。

この度策定する「第 2 期あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、現戦略の期間が満了することから、これまで取り組んできた施策を踏まえつつ、引き続き人口減少を抑える施策の一層の推進を図るものです。

策定にあたっては、国及び愛知県がそれぞれ策定する「第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案します。

本戦略は、市民・市民活動団体・民間事業者・教育機関・金融機関・その他関係団体等と連携し、効果的に施策を推進するものとします。

### 国の「まち・ひと・しごと創生」政策 5 原則<sup>※1</sup>

#### (1) 自立性

各施策が一過性の対症療法的なものにとどまらず、構造的な問題に対処し、地方公共団体・民間事業者・個人等の自立につながるようなものであるようにする。

#### (2) 将来性

地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援する施策に重点を置く。

#### (3) 地域性

国による画一的手法や「縦割り」的な支援ではなく、各地域の実態に合った施策を支援することとする。

#### (4) 直接性

限られた財源や時間の中で、最大限の成果を上げるため、ひとの移転・しごとの創出やまちづくりを直接的に支援する施策を集中的に実施する。

#### (5) 結果重視

効果検証の仕組みを伴わないバラマキ型の施策は採用せず、明確な PDCA<sup>※2</sup> メカニズムの下に、短期・中期の具体的な数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証し、必要な改善等を行う。

※1 国の第 1 期「総合戦略」に盛り込まれた内容。第 2 期「総合戦略」においても、引き続き重要な考えとして位置付けることとする上で、「連携」の位置づけをより明確化していくこととします。(国の「まち・ひと・しごと創生基本方針 2019」より)

※2 PDCAとは、Plan(計画)、Do(実施)、Check(評価)、Action(改善)の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法のこと。

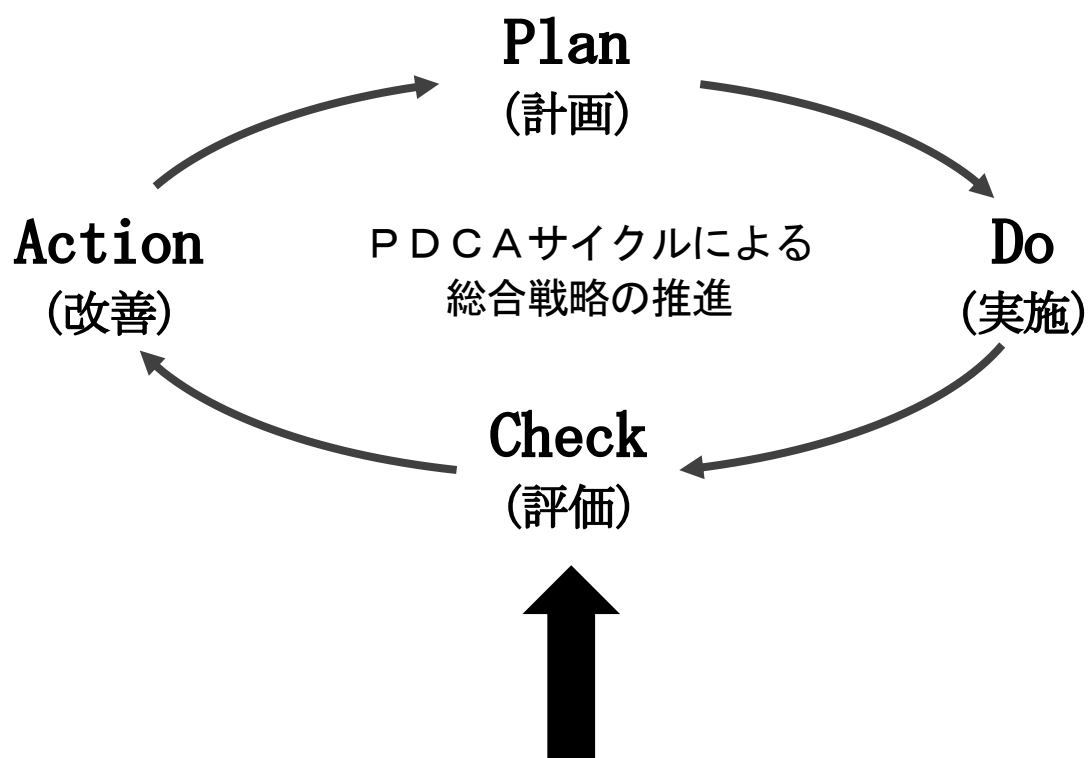
## (2) 対象期間

本戦略の対象期間は、**令和2年度**から**令和6年度**までの5年間とします。なお、本戦略には、基本目標や施策ごとに数値目標やK P I（重要業績評価指標）※を設定していることから、毎年度戦略の評価・検証・改善を行うものとします。

※K P I（重要業績評価指標）とは、Key Performance Indicator の略称であり、施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標のこと。

## (3) 総合戦略の推進体制

本戦略を着実に推進していくために、P D C Aサイクルを確立していくことが必要であり、戦略で定める数値目標やK P Iを基に、実施した施策や事業の効果について毎年度「あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会」を開催し、戦略の評価・検証・改善を行っていきます。



**あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会**

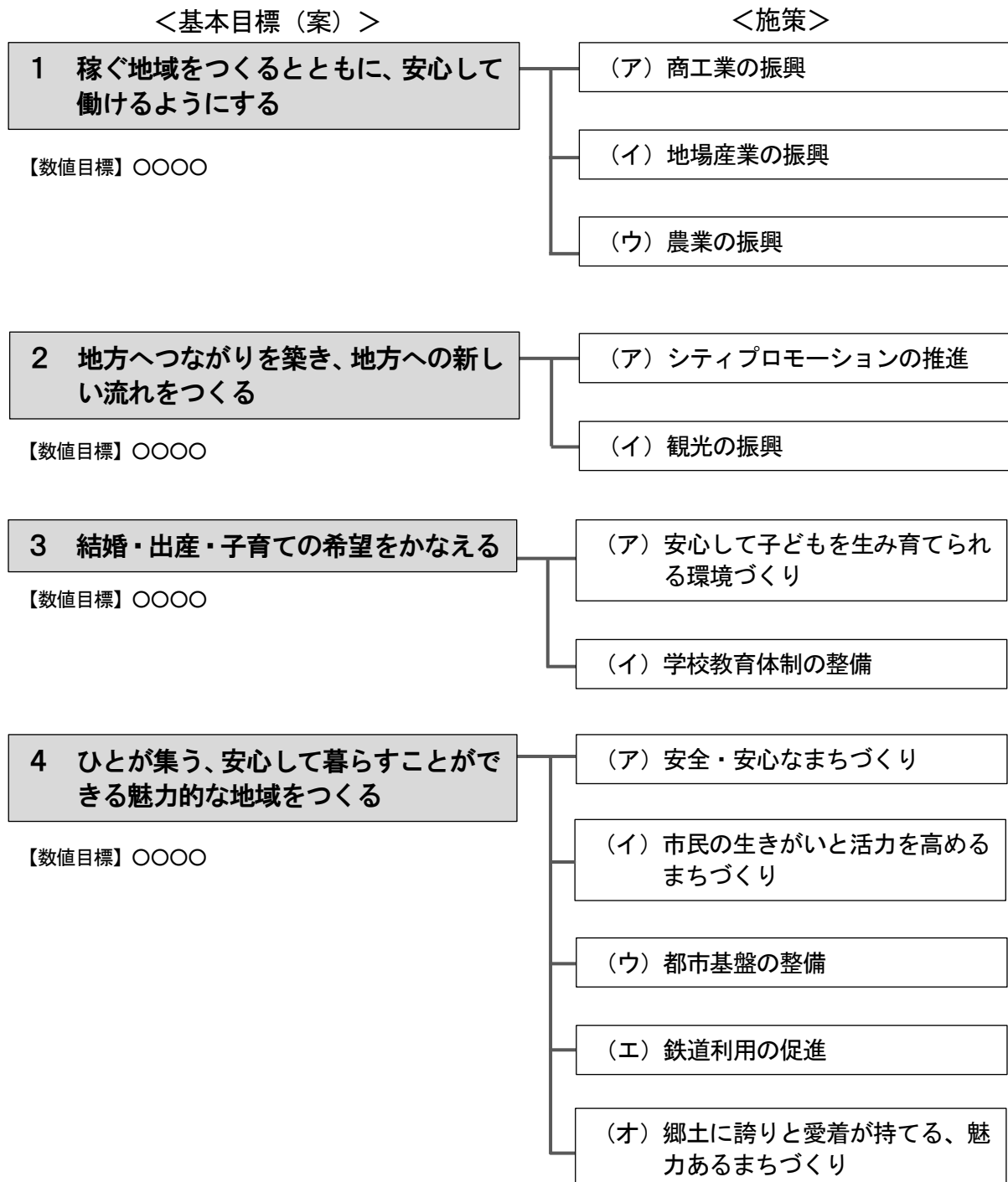
## 2 基本目標と施策

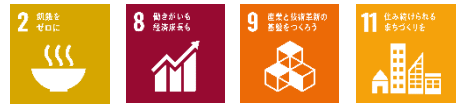
以下に示す戦略の体系のもと、取り組んでいきます。

基本目標については、第1期の総合戦略の枠組みを維持しつつ必要な強化を図ります。施策については、第1期の総合戦略の効果を検証して改善するとともに、国及び県の第2期の総合戦略を勘案しながら、より効果的な施策を検討します。

施策の内容については、第1次あま市総合計画で定める市の将来像「人・歴史・自然が綾なすセーフティー共創都市“あま”」を踏まえ、さらに平成27(2015)年に国連で採択された国際社会全体の持続可能な開発目標としてのSDGsの理念を踏まえ、地方創生とSDGsの相乗効果を図ります。

### 【戦略の体系】





## 基本目標1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

本市は、名古屋市の中心部から鉄道で約15分という良好な立地条件に加え、田園風景と住宅地との調和がとれた緑豊かなまちを形成しており、市民アンケートの結果では、市民の7割以上の方が、今後も居住する意向を有しています。また、市内の高校生は、就職先が市外でも、市内で生活しながら通勤を希望する傾向があります。

一方、本市は、人口8万9千人余を有するにもかかわらず、市内には就業場所が不足しており、名古屋市内の企業の通勤圏となっているため、市内での就業率は低くなっています。また、産業構造の変化に伴い、製造業、農業を始めとする市内各産業は、後継者不足や技術喪失の問題を抱えており、これらの産業の担い手不足が地域を支えてきた担い手の喪失にもつながります。

これらのことから、「稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする」ことで、就業に起因する人口流出の抑制、地域との連帯感の強化、地域経済の活性化が期待できると考えられます。

そこで、次の目標を掲げ、市内での就業機会を増大させる戦略を実施します。

### 【数値目標】

指標	現状値	目標値
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

### (ア) 商工業の振興

#### 【基本的方向】

本市の恵まれた立地条件は、企業や従業員にとって魅力的であると考えます。

そこで、市内に高度先端産業の工場等を新設、または増設する中小企業に対し奨励金を支給するなど、様々な方策による企業の立地を推進し、雇用の拡大を図ります。

また、市内企業を応援するとともに、後継者や起業支援体制の構築を検討し、本市の持続可能な地域産業の振興や地域経済の活性化に取り組みます。

#### 【KPI（重要業績評価指標）】

KPI（重要業績評価指標）	現状値	目標値
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

#### 【事業】（第2期で変更する事業名については、カッコ内に第1期の事業名を記載）

事業名
<b>企業誘致推進事業</b> （企業誘致ワンストップサービス事業）
高度先端産業立地奨励事業
国際的な企業誘致展開事業
金融機関、商工会と連携した起業支援事業
地域産業振興事業
就業希望者への情報提供及び勤労者、企業に対する相談体制整備事業

事業名
あま発未来創造塾事業【新規】
UIJターン支援事業【新規】
高等学校等における人材育成事業【新規】

## (イ) 地場産業の振興

### 【基本的方向】

本市には、七宝焼や刷毛・刷子（はけ・ぶらし）など、誇るべき地場産業があります。特に七宝焼（尾張七宝）は、平成7年に経済産業省の伝統的工芸品にも指定されており、日本を代表する工芸品です。これらの地場産業の現状把握を行い、活性化に向けて市内外へのPRを積極的に行うと同時に、次世代の職人育成にも力を入れます。

### 【KPI（重要業績評価指標）】

KPI（重要業績評価指標）	現状値	目標値
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

### 【事業】

事業名
地場産業活性化支援事業
地場産業関係団体への補助金交付事業
ふるさと納税を活用した地場産業のPR事業
七宝焼（尾張七宝）を通じた名古屋造形大学等との交流事業

## (ウ) 農業の振興

### 【基本的方向】

本市の豊かな水と肥沃な土壌に恵まれた自然環境と大都市近郊の地理的条件を生かした農業の振興を図るため、今ある農業環境や施設を保っていくと同時に、市民農園の拡充など農地の新たな活用方法の模索や本市の農業を担う新規就農者の育成、利用集積による生産性の向上に取り組みます。

また、本市近郊からの消費者を見込み、本市で収穫された農作物の販売ができる場を提供します。

### 【KPI（重要業績評価指標）】

KPI（重要業績評価指標）	現状値	目標値
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

**【事業】**

事業名
多面的機能支払交付金活用事業
市民農園拡充事業
新規就農支援事業
農業塾事業
農地の利用集積事業
農作物の高機能・高付加価値化、農業用施設の高機能化事業
軽トラ朝市事業

## 基本目標2 地方へつながりを築き、地方への新しい流れをつくる

本市は、人口 200 万人以上を擁する名古屋市からの公共交通機関、自動車等の利用による交通アクセスに優れ、また、市内に緑も多く、地価や家賃も比較的低廉な状況となっています。

一方、本市でも、今後、人口減少が予測され、それに伴い、経済規模の縮小や人口ピラミッドの形状が「つぼ型」（幼年人口が少なく老年人口が多い状態で人口減少が続く状態）が続くことが見込まれます。また、本市は、平成 22 年 3 月に合併により誕生した新しい市であり、知名度という点ではまだ十分でないと考えられます。さらに、定住を促進するためには、仕事があることのみならず、まちに魅力を感じてもらうことも大切な要素となります。

これらのことから、「地方へつながりを築き、地方への新しい流れをつくる」施策は、本市の知名度向上による移住・店舗進出の促進や、新たな人口の流入による人口ピラミッドの形状の改善、地域経済の活性化につながるものと期待できます。

そこで、次の目標を掲げ、市外からの滞在・交流人口を増加させる戦略を実施します。

### 【数値目標】

指標	現状値	目標値
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

### （ア）シティプロモーションの推進

#### 【基本的方向】

移住や店舗進出には、まず本市に来てもらい、見てもらい、知ってもらうことが重要なため、市外からの滞在・交流人口の増加に向けて、本市の魅力の発信や、本市を訪れる機会づくりに取り組みます。また、移住相談窓口などによる情報提供を実施し、定住の促進につなげていきます。

#### 【KPI（重要業績評価指標）】

KPI（重要業績評価指標）	現状値	目標値
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

#### 【事業】

事業名
あま市イメージアップ戦略事業
<b>あま市ふるさとPR大使事業【新規】</b>
自動走行実証実験促進事業
大都市近郊の自然を活用した市のPR事業
シティプロモーション事業
あま市のよいこと「見える化」事業
ロケーション誘致事業
移住相談窓口設置事業
スポーツ大会の会場等招致事業



事業名
地域グルメブランド確立支援事業

## (イ) 観光の振興

### 【基本的方向】

あま市観光協会と連携し、巡回バスなどを利用した観光振興に取り組みます。また、訪れる人の満足度向上を図るため、観光ボランティアなどの人材育成を行います。さらに、効果的に観光振興を図っていくため、海部地域の他市町村と連携を進めていきます。

### 【KPI（重要業績評価指標）】

KPI（重要業績評価指標）	現状値	目標値
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

### 【事業】

事業名
巡回バスを利用した市内観光推進事業
広域連携による観光振興事業
観光ボランティア育成事業



## 基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

本市では、就職を機に市外に転出された方が、結婚・出産を経て子育てをするにあたり、家族の協力を得やすく自然環境にも優れる市内にUターンをする傾向が見られます。また、公共交通機関、自動車等の利用による名古屋市からの交通アクセスに優れ、土地区画整理事業の実施や民間事業者による住宅分譲が行われ、地価や家賃も比較的低廉でもあることから、一部の地域では、若い世代の転入が顕著になっています。

一方、市民アンケートの結果によると、市民は、結婚・出産・子育てに希望はあるものの、それを実現できていない傾向が見られます。

これらのことから、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」ことで、生産年齢人口の増加、人口構造の安定、地域経済の活性化が期待されます。

そこで、次の目標を掲げて戦略を実施します。

### 【数値目標】

指標	現状値	目標値
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

### (ア) 安心して子どもを生み育てられる環境づくり

#### 【基本的方向】

既存の子育て支援事業の拡充、大学との連携による新規事業の展開、子育てに関する各種の情報発信などを通して、本市を今よりも子育てしやすいまちへと発展させます。

同時に、保護者の希望に応じた形での仕事と子育ての両立が図られるよう、保護者のニーズを踏まえた上で支援の充実を図っていきます。

#### 【KPI（重要業績評価指標）】

KPI（重要業績評価指標）	現状値	目標値
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

**【事業】**

事業名
学校法人同朋学園と連携した子育て支援事業
エンゼルシッター事業
あま市・大治町広域ファミリー・サポート・センター事業
子育てコンシェルジュ事業
病児病後児保育事業
子ども医療費支給事業
一般不妊治療費助成事業
妊婦等健診事業
<b>母子保健事業</b> （発達に応じた子育て支援事業）
子育て支援情報の集約と発信促進事業
<b>親学推進事業【新規】</b>
父親の子育て参加促進事業
母子家庭、父子家庭への子育て支援事業
高校生の社会参加促進事業
養子縁組支援検討事業
ブックスタート事業
第三子保育料無料化事業
<b>女性活躍推進事業</b> （男女共同参画プラン見直し事業）
性的マイノリティへの理解促進事業
ワーク・ライフ・バランス普及啓発事業

**（イ）学校教育体制の整備**

**【基本的方向】**

子どもたちが健全に成長するために、学校教育のさらなる充実を図ります。学校規模や支援体制など現在の体制を見直すと同時に、地域の方々の学校教育支援など地域性を生かした事業に取り組みます。

**【KPI（重要業績評価指標）】**

KPI（重要業績評価指標）	現状値	目標値
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

**【事業】**

事業名
公立学校規模適正化検討推進事業
スクールサポーター配置事業
教育相談支援事業

事業名
<b>地域学校協働本部事業</b> （ <u>学校支援コーディネータ配置事業</u> ）
<b>コミュニティスクール事業【新規】</b>
特色ある学校づくり推進事業
総合教育会議事業
<u>食育を促進する学校給食の推進事業</u> （ <u>地産地消・各地の郷土料理を取り入れた学校給食の推進事業</u> ）



## 基本目標4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

本市は、地域の連帯感により生まれた助け合いの精神や、数多くの地域活動とそれを支える市民の方々によって、より良いまちづくりを推進するための取組が行われており、市民の7割以上の方が、今後も居住する意向を有しています。また、教育面では、他市町村に先駆けて「教育立市プラン」を立て、人材育成に市を挙げて力を入れています。

一方、少子高齢化や人口の減少が進行すれば、高齢者のスキルを活用する社会づくりや地域と地域を連携する仕組みの確立が必要です。

さらに、令和9（2027）年のリニア中央新幹線開業に伴う地域間交流の活性化により、市民を取り巻く状況にも大きな変化が起こると予測され、価値観の多様化もさらに進行すると考えられます。

これらのことから、「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」ことで、住みやすいと感じる地域の形成、居住意向の向上が期待できると考えられます。

そこで、次の目標を掲げ、市民の居住意向を向上させる戦略を実施します。

### 【数値目標】

指標	現状値	目標値
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

### （ア）安全・安心なまちづくり

#### 【基本的方向】

災害時の安全を確保する防災体制を拡充すると同時に、地域の防犯力を高めることで、安全・安心なまちづくりを推進します。また、安全・安心を医療面からも支えるため、市民病院を核に地域医療の充実を図ります。

#### 【KPI（重要業績評価指標）】

KPI（重要業績評価指標）	現状値	目標値
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

#### 【事業】

事業名
コミュニティFM事業
地域防災力強化推進事業
公用車青パト化事業
体験型防犯教室開催支援事業
市民病院による地域に密着した医療提供推進事業

## (イ) 市民の生きがいと活力を高めるまちづくり

### 【基本的方向】

市民が健康に対する関心を高め、健康づくりに積極的に取り組めるよう関連施策の充実を図ります。また、高齢化が進行していく中で、健康なアクティブシニアを増やすとともに、高齢者のマンパワーをまちづくりに生かしていくための、学びの機会を提供します。

### 【KPI（重要業績評価指標）】

KPI（重要業績評価指標）	現状値	目標値
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

### 【事業案】

事業名
<b>地域包括ケア事業【新規】</b>
シルバーカレッジ事業
データヘルス計画事業
健康マイレージ事業
健康づくりボランティア育成事業
食生活改善推進員養成事業
健康大使任命事業
<b>スポーツ推進計画策定事業【新規】</b>
元気なシニアアスリート育成事業

## (ウ) 都市基盤の整備

### 【基本的方向】

住宅や交通、公共施設といった都市基盤の整備を計画的に行い、環境にも配慮した住みやすいまちづくりに取り組みます。

### 【KPI（重要業績評価指標）】

KPI（重要業績評価指標）	現状値	目標値
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

### 【事業】

事業名
空き家等対策事業
土地区画整理事業
公共施設等総合管理計画及び個別施設計画事業
地域公共交通運行事業
都市計画マスタープラン見直し及び地区計画策定事業
安全で快適な道路空間の確保推進事業
道路ストック修繕事業

事業名
<b>新たなモビリティサービスの普及促進に向けた検討</b> （会社や自動車と連携した公共交通推進事業）
<b>環境に配慮したまちづくり事業【新規】</b>

## （エ）鉄道利用の促進

### 【基本的方向】

市民アンケートでは、本市に住み続けるために必要な条件として、「交通・通勤の利便性がよいこと」が上位となっています。市民の生活の足となり、本市の交通の要のひとつである鉄道を将来にわたって維持していくために、鉄道会社と連携しながら鉄道利用を促すイベントや事業に取り組みます。

また、鉄道は地域と地域を連携するための手段となります。将来人口が減少し、少子高齢化社会となっても、地域と地域の連携により社会活力を維持することができるよう、鉄道を利用しやすいまちづくりに取り組みます。

### 【KPI（重要業績評価指標）】

KPI（重要業績評価指標）	現状値	目標値
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

### 【事業】

事業名
鉄道維持の方策検討推進事業
鉄道利用促進イベント事業
名古屋鉄道津島線への愛着づくり推進事業
パーク&ライド検討推進事業

## （オ）郷土に誇りと愛着が持てる、魅力あるまちづくり

### 【基本的方向】

令和2年に市制施行10周年を迎える本市が、将来に向けて市民が愛着の持てるまちとなるために、住みやすさに加えて「楽しみ」や「誇り」を実感できる、まちのシンボルづくりやイベント事業に取り組みます。

### 【KPI（重要業績評価指標）】

KPI（重要業績評価指標）	現状値	目標値
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

**【事業】**

事業名
まちのシンボルづくり推進事業
魅力ある地域イベントの開催等による子どもたちの思い出づくり推進事業
市民活動センター「あまテラス」運営事業
学生のボランティア活動等参加促進事業（中学生のボランティア活動等参加促進事業）